



小沢川の家 個別完成案内

終了致しました。

8/28(土)・29(日) 9/11(土)・12(日)で
個別完成案内を開催いたしました。

ご来場いただきました皆様、マスク着用・アルコール消毒・検温など
ご協力して頂きまして誠にありがとうございました。

無事に完成案内を終えることが出来ましたこと、スタッフ一同、心より
感謝申し上げます。

小沢川の家

建物 主概要

1階床面積	160.23㎡
2階床面積	30.30㎡
床面積	198.24㎡ (59.97坪) 車庫除く
敷地面積	334.40㎡

建物 性能値

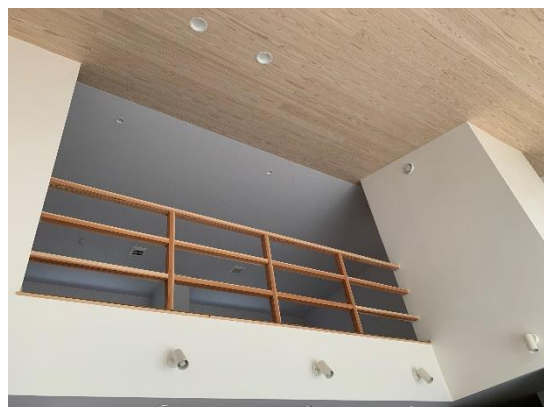
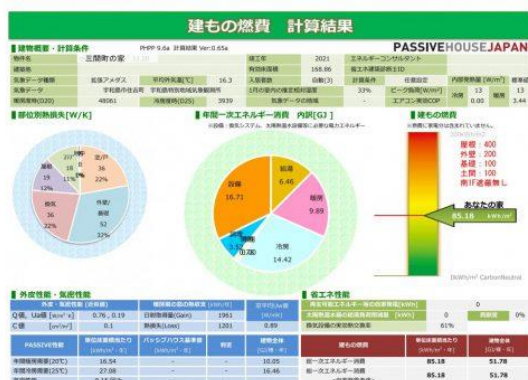
Q値	: 0.76 [w/m ² ・K]
Ua値	: 0.19 [w/m ² ・K]
C値	: 0.1以下 [cm ² /m ²] (減圧・加圧法ともに)
年間暖房負荷 (20℃)	: 16.54 [kWh/m ² ・年]
年間冷房負荷 (25℃)	: 27.08 [kWh/m ² ・年]
一次エネルギー消費	: 85.18 [kWh/m ²]

主な内装材

床	杉柎燻煙、パイン リノリウム (脱衣所、トイレ)
壁	漆喰 ラウファーザー (紙クロス)
天井	杉板 ラウファーザー (紙クロス)
化粧枠	杉材
玄関土間	コンクリート (墨いり)

主な外装材

屋根	ガルバリウム鋼板
東面	杉板はり
西・南面	ガルデ 左官塗仕上げ
北面	ガルバリウム鋼板
軒天	杉板



KOSOUGAWA HOUSE

注目ポイント



ORCONHRC400-ECOMAX

三世代が暮らす二世帯住宅。
子世帯玄関土間を挟み左右に分かれる設計は、程よい距離感が実現されています。建物の大きさ的には2台の換気システムが必要とされましたが、設置スペース、費用等を考えると出来たら1台で賄いたい。

そこで設置された換気システムは、ORCONHRC400-ECOMAX。

主な特徴は、

- ・99.7%と言われる熱交率（カタログ値による）
- ・低消費電力 40.4ワット
- ・とても静か

そして、オランダの製品らしいモダンなデザインにも惹かれます。



高性能な窓

窓は家の中で最も熱が出入りする場所です。

今回、採用させていただいているのは、ドイツ『FÜNILUX』のアルミクラッド木製トリプルサッシ。

性能に加えて、意匠性や耐久性、美しいさも兼ね備えている窓です。

お家のなかの熱は外に逃がさず、太陽の熱は約50～60%も取り入れられるまさにエネルギーを無駄にしない窓になっています。



自然素材

床に使われているのは、1階が杉柂巾接（浮造・燻煙乾燥）、2階がパインという木の中でも比較的柔らかめなものです。

クッション性があるため、堅木と比べると足腰への負担も軽減されます。

特に、1階の杉柂巾接（浮造・燻煙乾燥）は、柂目と呼ばれる木の木目に沿って凹凸があるように加工されているため、素足で踏むたびに心地の良い感触を味わうことが出来ます。

壁は、漆喰塗りやラウファーザー（紙クロス）が使われ、

どちらも優れた通気性と吸湿性を持ち、環境にも人にも優しい素材です

また、化粧枠、天井などあらゆるところにも無垢の木が使われています。

KOSOUGAWA HOUSE



価値ある素材を再利用

以前に住まれていたお家を解体した際、床の間の床板と玄関上がり框、式台などは丁寧に外され、新しいお家で再利用されています。

- ・親世帯のキッチンカウンター(玄関框・式台)
- ・子世帯のテーブル(床の間の床材)
- ・玄関の框(床の間の床材)

いい材料は、形を変えて使い続けられています。



次の世代へと受け継がれていく“家”に

高性能とは、断熱性能・気密性能そして計画的な換気この3つがバランスよく保たれていること。

それによって、
夏 暑くなく、冬 寒くない 温度ムラの少ない室内空間を
少ないエネルギーで賄えます。
更に、自然素材を主として使うことで人の体にも環境にも優しい
そんな家づくりを実現しています。

そして そのような家は
“取り壊す理由がない家”となるのではないのでしょうか。

子から孫、そして次の世代へと住み続けられる家へと
なっていくのではないのでしょうか。



ご来場いただきまして、誠にありがとうございました。

少しでも弊社での家造りに共感して頂き
ご参考にしていただけますと幸いです。

今後も見学会や家づくりの情報などを
ホームページやSNSでお知らせしていきますので
ぜひチェックしてみてください。

**KOSOUGAWA
HOUSE**